

MEIJI MURA

明治村だより
116 2024 Winter



CONTENTS

- 明治村の建築に視る日本近代青春群像物語〈十六〉
 中山道木曾路、須原の清水医院と医師半治郎の生涯 … 02
 MEIJIMURA TOPICS & 冬の催しもの … 05
 A La Meiji-mura
 兵士の生活スペース「内務班」… 06 シアトル日系福音教会の屋根を見上げて … 07



明治村みらい基金

私たちの未来を豊かにする「明治」の価値
一緒に残し、伝えていきませんか

歴史的建造物を中心とした「明治時代からの贈り物」を未来へ残し続けるためには、多くの資金が必要です。明治村事業へのご支援をお願いします。

ご支援の内容

- ・ 本物の価値を残し、未来へ伝えるための展示建造物の維持・保存修理
- ・ 本物の価値を残し、未来へ伝えるための歴史資料の維持・保存修理
- ・ 未来の指針となる明治時代の価値を伝えるための展示(常設展及び企画展)
- ・ 明治時代製造の蒸気機関車及び京都市電の動態展示
- ・ 博物館明治村の事業全般

1回3,000円からご支援いただけます(マンスリーサポーターは月額1,000円から)
公益財団法人明治村へのご寄付は一定の「税制控除対象」となります。

ご寄付の方法

明治村みらい基金へのご寄付は、以下の方法で行うことができます。

- ・ クレジットカード
- ・ 金融機関からの振込
- ・ ゆうちょ銀行からの払込

詳しくは博物館明治村公式サイト内
「明治村みらい基金」をご覧ください。



協賛会員 (令和6年11月1日現在)

敬称略:五十音順

ゴールド会員

名鉄都市開発株式会社 矢作建設工業株式会社

一般会員

- | | | | |
|-----------------|-----------------|-------------------|---------------------|
| アイカ工業株式会社 | アサヒ飲料株式会社 | アサヒビール株式会社 | 厚見建設工業株式会社 |
| 株式会社安藤・間 | 株式会社磯部組 | 株式会社伊藤園 | 伊藤忠商事株式会社 |
| 因幡電機産業株式会社 | 株式会社魚津社寺工務店 | 株式会社エイムクリエイツ | NTT都市開発株式会社 |
| 株式会社NTTファシリティーズ | NTP名古屋トヨペット株式会社 | 株式会社大林組 | 岡谷鋼機株式会社 |
| 株式会社オノコム | 鹿島建設株式会社 | 株式会社関電工 | キリンパレージ株式会社 |
| 株式会社熊谷組 | 株式会社鴻池組 | ココヨマーケティング株式会社 | 五洋建設株式会社 |
| 合資会社青木研磨工業所 | 株式会社ザイマックス | 佐藤工業株式会社 | サントリーコーポレートビジネス株式会社 |
| 株式会社シーイーテック | 柴山コンサルタント株式会社 | 清水建設株式会社 | 株式会社新高土木 |
| 株式会社スペース | スターツ東海株式会社 | 株式会社扇港電機 | ダイキン工業株式会社 |
| 大興建設株式会社 | 大成建設株式会社 | 株式会社竹中工務店 | 株式会社谷澤総合鑑定所 |
| 株式会社丹青社 | 中京テレビ放送株式会社 | 中設エンジ株式会社 | 中部電力ミライズ株式会社 |
| 鉄建建設株式会社 | 東京海上日動火災保険株式会社 | 株式会社東芝 | 東洋電機製造株式会社 |
| 戸田建設株式会社 | 株式会社中島工務店 | 西日本電信電話株式会社 | 西松建設株式会社 |
| 日本たばこ産業株式会社 | 能美防災株式会社 | 株式会社長谷工コーポレーション | 株式会社日立製作所 |
| 株式会社ファミリーマート | 株式会社フジタ | 株式会社不動テトラ | ホーチキ株式会社 |
| 前田建設工業株式会社 | 三井不動産株式会社 | 三井不動産ビルマネジメント株式会社 | 三菱商事株式会社 |
| 三菱電機株式会社 | 名高土木株式会社 | 名鉄EIエンジニア株式会社 | 名鉄エアパートナース株式会社 |
| 株式会社森本組 | 株式会社ヤシマキザイ | 株式会社LIXIL | 若松物産株式会社 |

「明治村だより」第116号(令和6年冬号) 令和6年12月9日発行

発行 博物館明治村
〒484-0000 愛知県犬山市宇内山1番地 電話 (0568)67-0314 <https://www.meijimura.com>

製作 大日本印刷株式会社

「明治村だより」第117号発行のお知らせ

発行時期 令和7年3月予定
「明治村だより」は、順次Webで公開させていただきます。詳しくは博物館明治村公式サイトをご覧ください。
※郵送サービスは終了いたしました。ご了承ください。

表紙について 絵はがき「現代美人風俗」



ハイカラな、というより
かなり特異な意匠

清水医院は中山道木曾路の妻籠と木曾福島の中程、JR中央本線の須原駅に近いところにあった(写真1)。建築様式から見て明治三十



写真1 解体時の清水医院(右手手前)と中山道の様子

(二八九七)年代の創建と推定されている。昭和四十七(一九七二)年の解体時には、特に一階部分がかなり改造されていたが、痕跡調査等をもとに、ほぼ創建時の姿(写真2)が復原されている。中山道沿いの宿場町の妻籠や馬籠の伝統的木造町屋から比較、想像すると、白壁にアーチ型の開口部が連続するスッキリとした立面

明治村の建築に視る日本近代青春群像物語 (十六)

中山道木曾路、 須原の清水医院と 医師半治郎の生涯

館長 中川 武

構成は、きわめてハイカラな洋風建築に見える。山里の古い宿場町にこれだけの建築が突然出現したのだから、かなりのインパクトを与えたに違いない。一体どんな建築なのか、この建物を建てた人物は誰か。当時、中山道でこの建物を見た人でなくとも、この建物の背景を深掘りしたくなるであろう。

● 外観

木造漆喰塗、軒裏まで塗り籠めて大壁造とし、石積風の目地を切り、隅柱の柱型とアーチ型開口部回りと窓台を洗出し仕上とし、一階と二階の胴蛇腹にモールディングを入れて石造建築風を強調している。また、アーチ型にした洋風窓は上げ下げ窓や開き窓が通常であるが、引き分け戸となっていて、そのギャップは内部に入った者を驚かせている。正面の意匠には、腰回りの四半敷状目地が海鼠壁風に見えなくもないが、あまり和の要素は使われていない。日本の伝統的工法を用い、洋風意匠を取り入れ、新しい時代への意欲を表現する手法は、強いて言えば擬洋風であるが、文明開化期を過ぎるとあまり見られない。また、清水医院の正面の意匠には、洋風への憧れとともに何かしら禁欲性を感じさせる。入口左側には、取っつけたように日本の伝統的な七宝文の目地を腰壁につけた袖壁がある(図1)。これは古写真から復原された。

● 屋根

外観の全体が、禁欲的で、プレーン。しかしどこか新しい印象を作り出して

● 平面と内部意匠

二階建てであるが一階平面は、通り土間に食違い四間取りとなっている(図3)。農村住宅における平面形式の発展は近畿圏と江戸周辺では異なり、山村ではかなり遅れたり、小規模なものになったりしがちであった。土地持ちの独立自営農民が広間型平面の民家を持つのは早い地域では江戸中期からで、食違い四間取りから、幕末期になると、整形間取りへと階層も地域も広げながら波及していくようになる。明治期の宿場町の町屋形式の民家といえども、このような全国的な傾向から無縁ではなく、多かれ少なかれ全国的な民家の発展形式の影響を受けながら、かなり遅れて各々が地域の民家文化圏をつくることになる。いずれにしても清水医院は、農村の民家形式を医院としたものであって、通り庭に続くバグヤードや居住スペースとなる離れなどを前提として建てら

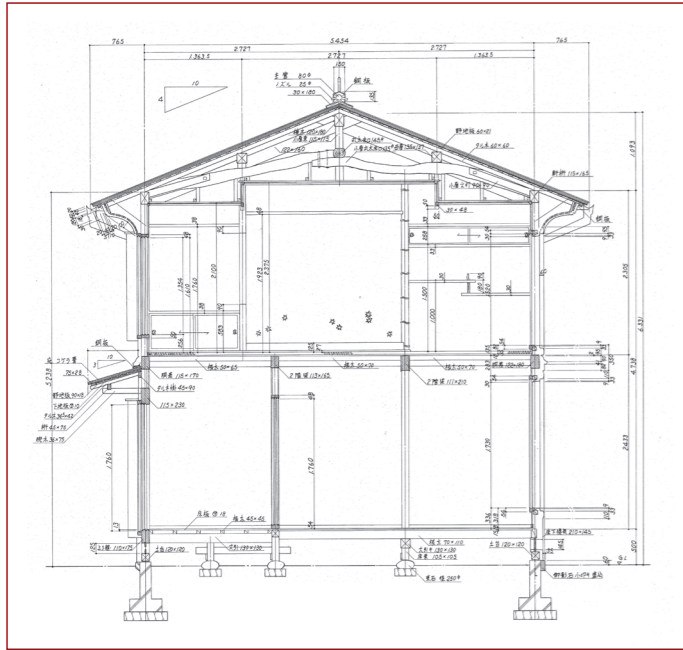


図2 矩形図



写真3 屋根木賊葺壇置 修理後



写真5 屋根木賊葺 修理後

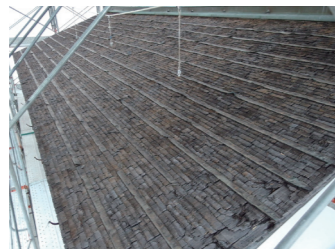


写真4 屋根木賊葺 修理前

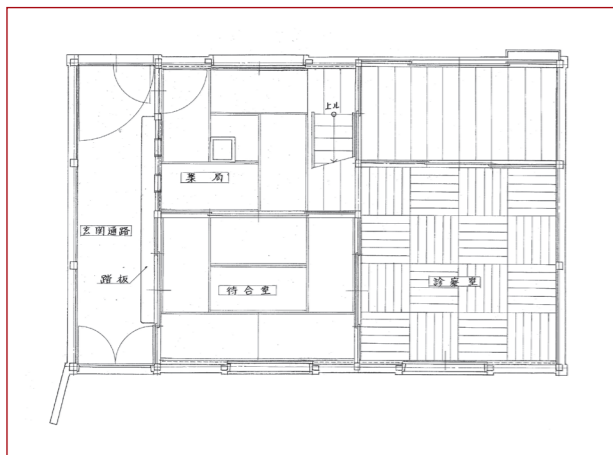


図3 1階平面図



写真2 正面外観



図1 正面立面図



写真6 通り庭から横に養生訓が大書された待合室。その奥の調剤室と土間境の漆喰壁には二つの投薬口が設けられ、薬を受け取る人は上り端に腰かけて待っていたようだ。



写真7 調剤室と二階への登り階段

れた。このことは次節で取り上げるとして、一階部分の特徴は、土間から上がった待合室の襖に、「精神不運則愚 血脈不運則病」(写真8)と漢詩から拝借してきたと思われる養生訓を大書にしていること、なるほどと納得しつつも、その大胆さに驚かされる。調剤室と待合室の境には薬棚を置き(写真9)、調剤室には二階への登り階段口があった(写真7)。

二階は広い階段口を挟んで二間×三間の十二畳に違い棚、床の間、飾り棚を組み込んだ

MEIJIMURA TOPICS ▶2024.10-11

10/5~27 重陽の節供の飾り付けを実施

9月9日の重陽の節供にあわせ、村内各所に重陽の節供に関する掛軸や菊などの花を設えました。今年は西園寺公望別邸「坐漁荘」の縁側に、重陽の節供の行事の一つ「着せ綿」をイメージしたアレンジメントとオリジナルの菊の香りの香を焚き、お客様をお迎えしました。



10/12~27 明治天皇御料車・昭憲皇太后御料車 内部特別公開

鉄道局新橋工場の明治天皇御料車(1910年製造)、昭憲皇太后御料車(1902年製造)内部を6年ぶりに公開しました。また、皇室の特別な儀式の際に使用される「儀装車」(写真)も10年ぶりに公開しました。今回初めて内部をご覧いただけるようにしました。



11/2~17 「儀装車」特別公開

10/27 「第8回明治村少年剣道大会」を「第4高等学校武術道場『無声堂』」にて開催併せて、「無声堂」内に新しく展示パネルを設置

今回8回を数える「明治村少年剣道大会」は全国から選抜された剣道道場の20チームが競い合いました。また、展示充実のため、無声堂に関する解説パネルや、かつて26年間にわたって開催された「明治村剣道大会」、壁面に掲出している当時の在籍者の名札についてのパネルも設置しました。



11/2~4 燈台記念日特別企画「品川燈台」特別公開・関連イベント実施

11/1の「燈台記念日」に合わせ、品川燈台内部を公開しました。また、北里研究所本館・医学館では第四管区海上保安本部による「灯台と海図の歴史展示」の開催や中日海洋少年団による手旗信号の実演を札幌電話交換局前と品川燈台前の広場にて披露し、イベントを盛り上げました。



写真8 二階座敷飾棚を見る



図4 2階平面図

数寄屋風の座敷があり(図4)、床前の天井を高くして小壁に、雲龍、富士山、松林が軽やかに図案化された左官板絵が建て込まれ(写真8)、襖には、桔梗、鳳凰、唐草、波千鳥のモチーフが巧みに配されている。漢方薬、慶事、不老長寿、生命力、繁栄、家内安全、目標達成などなど吉祥モチーフがさりげなく、しかしこれでもか、というくらいに至るところに散りばめられている。意匠の達人をここに見る思いである。

二 医師半治郎の驚くべき生涯と彼の目指したもの

清水医院を建てたと考えられる清水半治郎の子孫のご一行が、清水医院の修理工事竣工の後、見学のため来村された。その折、解体移築前の医院の状況や周辺の建物配置の様子を伺うことができた。特に、一階通り庭の奥には、手術室、主屋、離れ、蔵、病棟、庭、畑などのおおよその配置と規模の概略が判明したことにより、清水医院の佇まいの背景にはこのような施設と生活があったことが想像され、俄然リアリティが立ち上がったように感じる(図5)。

それにしても清水医院の内、外の意匠を生み出したのはどんな人物であったのだろうか。髪と髭を長く伸ばし、和服を着た清水半治郎の写真が残されているが(写真9)、この人は一体何を考えていたのだろうか。

清水半治郎は東京で医学を学び、須原に帰って開業したということになっている。いくら宿場町とはいえ、名古屋から須原までの鉄道の開通が明治四十二年で、中央線の全通が明治四十四年である。明治三十年代に、まだ一介の医学生上がり



図5 解体時の清水医院と周辺の建物配置図

に等しい若年医師が、医学の専門知識を越えた教養の深さと単なる和洋折衷様式にとどまらないセンスの良さと、患いや地域の迷える人々に明るい想いを届けようとしたことが清水医院の正面意匠に感じられるのである。

清水医院について思うとき、避けて通れないのが、島崎藤村との関係である。藤村の短編小説『ある女の生涯』(註3)のヒロイン・おげんは藤村の長姉・園子がモデルと言われている。おげんは木曾福島の旧家に嫁ぎ、不肖の亭主のために、心身を病み、親子ともども苦勞を強いられた。婚家にて一時小康を得ていた頃、書生として同居していたのが後に須原で開業することになる蜂谷医院の医師であった。おげんは保養を兼ねてしばらく蜂谷医院に滞在する。



写真9 蔵の前での集合写真(前列向かって右から二人目が半治郎氏)

「蜂谷は山家の人にしてもめずらしいほど長く伸ばした髭を、自分の懐中に仕舞うようにして」とか「おげんは病室風の長い廊下のところに居て、…(中

略) …そこへ院長蜂谷が庭づたいに歩いて来て、おげんを慰め顔に廊下のところへ腰掛けたり」

このような描写が散見される。これはまさに伝来している半治郎の肖像であり、子孫の方から伝聞した清水医院周辺の建物の様子そのものである。つまり蜂谷医院は清水医院をモデルとしていることが推察される。このようなおげんの病院内の振舞の描写は、後の東京での養生や精神病院のくだりにも出てくるので、藤村も清水医院を訪れていたのかもしれない。というはおげんが婚家から蜂谷医院を訪れた時、自分の生まれた村から近いのでホッとすると述べられているので、それは園子、そして藤村の印象でもあったと考えられる。

藤村は『夜明け前』の主人公・青山半蔵を通して、封建的格(註4)と精神障害に苦しみながらも、魂が叫ぶように生きた実父・正樹(註5)も、園子とその子どもたちのことも片時も忘れなことを誓った。清水半治郎は、藤村と同じふることのない何かを求め続けたように、彼もまた医家として生きる決意の中に、多くのものに気を配り、あきらめない魂の姿を心にとめたのではなかったか。それがあの長い髭であり、清水医院の内外の意匠であったように思う。

主な参考文献
博物館明治村 二〇一九年『明治村だより』九十五号、九十七号

註一 板葺屋根は切板を重ね、ずらしながら葺き重ねていくが、板厚の薄いものから柿、木賊、椋葺きと呼ぶ。木賊は通常一分五厘から二分厚のものをいうが、清水医院は二分(約六ミリ)のものが使われていた。

註二 薬棚および薬瓶などは東京小石川の遠藤医院のもの。

註三 島崎藤村 一九二七年『風』新潮社

註四 『夜明け前』の主人公・青山半蔵は実父・正樹がモデルとされている。

明治のしあわせ 見つけ隊
2024.12.21 ~ 2025.2.24

文豪紐解きさんぽ
食 音楽 芸術 をテーマにした全3コース!
文豪たちの作品から彼らの思いや人物像を紐解こう! 秘められた「しあわせ」が見えてくる!?

村のクリスマス
コンサートにミサ、村内各所に飾りつけを行います。

はっぴいニューイヤー
おみくじや正月を彩るイベントを行います。

日本各地の門松・しめ縄めぐり
1/2(木)~31日(金) ※休村日を除く
門松は13日(月・祝)まで

書き初め道場
1/2(木)・3(金)

日本の遊び体験
1/2(木)~5(日)

新春マジックショー
1/4(土)・5(日)

明治偉人隊のかるた大会
1/4(土)・5(日)
※出演者は予告なく変更する場合がございます。

12/7(土)~2025/2/24(月・休) ※休村日を除く
明治時代風「オリジナルドレス」を着て記念撮影!
「オリジナルドレス」を期間限定で貸し出しします。華やかな衣装に身を包み、ご自身のカメラやスマートフォン等で記念撮影をお楽しみください。

帝国ホテル中央玄関修理現場見学会
2/1(土)・8(土)
修理中の「帝国ホテル中央玄関」を特別にご案内します。

明治村古墳特別公開 ※雨天中止
2/2(日)・9(日)
専門家による解説と、非公開の石室内をご覧いただける貴重な機会です。

各イベントの詳細は、明治村公式ホームページをご覧ください。

写真1 歩兵第六聯隊兵舎



徹底された整理整頓！ 兵士の生活スペース 「内務班」

4丁目36番地 歩兵第六聯隊兵舎

士官室を見ることができませんが、最も東側に位置している部屋は内務班を復元したものです(図1・写真2)。内務班とは、一般の兵士が生活する場で、道具の置き方から生活の仕方まで細かく規則が定められていました。明治村では、この部屋の一部を資料に基づき再現しています。薬布団が敷かれた寝

台は、「人員検査済ノ後各室ヲ掃除シ敷布並ニ毛布ヲ振ヒ叩嚙ニ畳ミ寝臺ノ上ニ置キ(註二)」と書かれている通り、丁寧にベツドメーカーキングされている様子を見ること

村内のほぼ中央、四丁目から北も南もよく見通せるような高台に建てられているのは歩兵第六聯隊兵舎(写真1)です。歩兵第六聯隊とは、名古屋に置かれていた東京鎮台第三分営という軍隊が、明治六(一八七三)年に名古屋鎮台に昇格した時に新しく編成された部隊で、兵舎は名古屋城内に置かれました。明治村には、兵舎のうち一棟が、当時の約三分の二に切り縮められた状態で移築されています。現在、廊下を挟んで中隊長室、下

図1 1階部分平面図

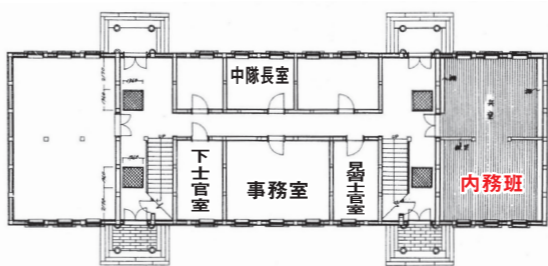


写真2 内務班の様子

ができます。また、「顔及ヒ髪ヲ洗ヒ身ヲ清メ然ル後武器及ヒ被服ヲ整頓スヘシ(註二)」とあることから、生活規範を整える方針は陸軍省で共有されていたことが分かっています。壁に沿って設えられた棚の上には、木箱や背囊(のぶくろ)が置かれています。木箱は「手箱」と呼ばれるもので、私物を入れることができました(写真3)。背囊は、食糧、弾薬、下着、生活用品を入れて背負う鞆で、「棚ノ上ニ置キ附属具ハ紛失セサル様屬具袋ニ納ムヘシ(註三)」とされています。布は被服包で、夏季は冬物を、冬季は



写真3 手箱

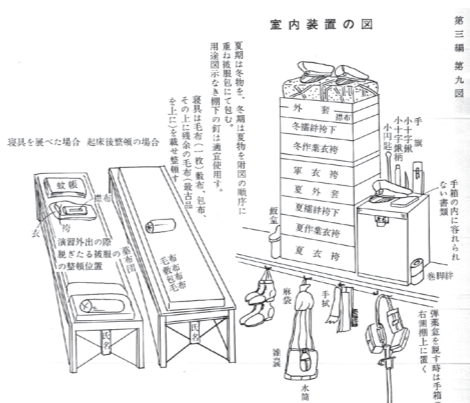


図2 兵士の身の回り品「歩兵第六聯隊歴史」より

夏物を重ねて包んでいましたが、これらを積み重ねる順序についても厳しく定められていました(図2)。棚の下には、飯盒(いげんごう)、麻袋(あしうろ)、雑囊(ざつぶくろ)、弾薬盒(だんやくごう)などさまざまな荷物がかけられています。腰回りに身に着けておくものや、よく使う日用品などはこのようにすぐ手の届くところに掛けられていました。ここまで展示でご覧いただけただけの兵士の荷物を紹介してきましたが、棚の上にはさらに巻脚絆(まきあしづな)、手旗(てのぼり)、小十字鍬(こじゅうくわ)、小十字鋸(こじゅうのこ)など備えられていたと記載されているのに加えて、背囊の中の荷物、寝台や手箱への記名など資料どおりには復元できていない部分もあります。実際に室内には、かなり多くの荷物があつたと推測されますが、室内の整然とした雰囲気から整理整頓の厳しさを感じることが出来ます。ここまで厳しくなされているのは、躰のためだけでなく、誰もが同じように置いておくことで有事の際に迅速に準備をするためでもあつたと言われています。身の回りの整理整頓の徹底から厳しく叩きあげられた兵士たちも、近代日本の国づくりの一端を担ったとも言えます。

- 註一 「歩兵内務書第三版第九章 下士及ヒ兵卒室内起居ノ定則」による。「歩兵第六聯隊歴史」には、服の順序など、その具体的な規則が図示されている(図2)。
- 註二 「歩兵内務書第三版」第十章 下士及ヒ兵卒室内物品装置ノ定則による。
- 註三 「歩兵第六聯隊歴史」では、棚の上に置くことされている。
- 参考文献
 (1) 歩兵第六史編集委員会一九六八年『歩兵第六聯隊歴史』歩兵史料刊行会事務局
 (2) シオサイ軍事法規研究会二〇二四年『明治陸軍の兵営生活』
 (3) 陸軍省一九九〇年『歩兵内務書第三版』



シアトル日系福音教会の 屋根を見上げて

4丁目38番地 シアトル日系福音教会

上げ材料はすべて再用を目的としてはずしたが、構造材は大半を現地に残すこととしていた。ただ、大屋根の極の見本、ドーマー・ウィンドーの構造、外壁軸組の一部は、大型コンテナに入り得る程度に大きく切り取って輸送することとして工事を進めた。(註二)とあり、今回取り上げる開口部は、ドーマー・ウィンドーと認識していたと思われる。ドーマー・ウィンドーとは、屋根裏と訳される屋根裏を採光するために屋根面から垂直に突出して取付けられている窓で、開閉可能なガラス窓を設け、採光を妨げないような屋根を架けているものです。今回の開口部をみると、垂直に突出している点はドーマー・ウィンドーの特徴と一致していますが、開口部には縦格子がはめ込まれ、屋根が採光を妨げるように架けられている点はドーマー・ウィンドーとは異なっています。

アメリカ北西部の住宅研究によると、シアトル市域は温暖で湿度が少ない気候であるため、住宅建設の際に風通しを重視していないこと、多くの住宅は木造2×4という簡素化された工法で住宅が建てられていることが挙げられています。この住宅の外観は「クラシック・ボックス」という箱のような外観と単純型が特徴の住宅に分類され(註三)、西川加禰氏は「このようなコンパクトで箱型をした住宅は、一

方都市化するにつれて狭くなった四〇〜五〇フィート(註三)中の敷地に大変有効なこともあつて、最も一般的に広く普及することにもなった(註四)と指摘しています。一九〇〇年代前半のシアトルは人口が急速に増えた時期であり、住宅の建設が急務とされました。そこで、クラシック・ボックスは量産化され建売りされたと考えられます。実際、シアトル日系福音教会の幅は約九・七メートルで、西川氏が指摘した敷地幅に建てることできました。また、解体時の写真には、左右を反転させた住宅があり、現代にみる建売り住宅を連想させます(写真2、3)。

また西川氏はクラシック・ボックスの基本タイプはF.L. Wrightがイリノイ州に建てたW.H. Winslow邸とも指摘しています(註五)。この建物よりシアトル日系福音教会は出窓や飾り窓などの数が少なくなっており、量産できるように簡素化した住宅であると考えられます。屋根の



写真1 シアトル日系福音教会の開口部

明治村にあるシアトル日系福音教会は、一九〇〇年代初頭にアメリカ合衆国ワシントン州シアトルの中心部から少し離れたピーコン・ヒルに建てられた建物です。建物の外観を見ると、玄関正面と裏側の二箇所に屋根から飛び出した開口部が確認できます(写真1)。今回は、この開口部が何なのかについて考えていきます。

まず、明治村に残されている記録によると、「今回の解体の方針として、仕

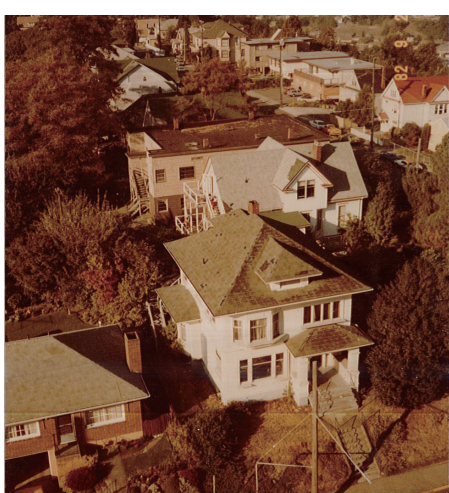


写真2 解体時の町なみ



写真3 同形の住宅